

明治大学大学院の 学生支援制度



研究支援

研究業績のための様々な助成金制度

学術論文投稿・掲載料助成

学会誌や学術誌への論文掲載料の助成を行います。

学会研究発表助成

▶ Voice 01

日本学術会議に登録されている学会または国際学会において学術研究の発表を行う場合に、その交通費及び学会発表参加登録料について、助成金を交付します。

大学院生による研究プログラム

▶ Voice 03・04

① 海外研究プログラム ② 研究調査プログラム

大学院生自らが計画する、国内外における研究調査等のプログラムを募集し、審査のうえ経費の一部を助成します。

外国語学術論文校閲料助成

国際的な学術的刊行物等へ投稿する論文の外国語校閲料の助成を行います。

研究科間共通科目による 英語研究力教育

P.188

コピーカード助成制度

大学院生の研究活動に対する助成の一環として、在籍する大学院生を対象に、次のとおりコピーカードを配付します。

コピーカード種類	コピーカード 度数	配付期間
博士後期課程研究助成用	上限1000度数	毎年度所定の時期に配付
博士前期・修士課程研究助成用	上限600度数	毎年度所定の時期に配付

大学院博士後期課程

国際共同研究推進プログラム

P.009

研究論集

大学院生の研究成果を発表するための貴重な場として、研究科別に法学研究論集、商学研究論集、政治経済学研究論集、経営学研究論集、文学研究論集、情報コミュニケーション研究論集、教養デザイン研究論集、国際日本学研究論集、理工学研究論集、農学研究論集、グローバル・ガバナンス研究論集を毎年2回発行しています。各研究論集に論文が掲載されるためには、予備登録を行った上で論文を提出し、各審査委員による審査を受け、論文の評価が一定基準を満たさなければなりません。この研究論集掲載に向けて論文を執筆することは、修士論文・博士論文の執筆や学会誌投稿のための準備となるでしょう。

日本語論文作成サポート

留学生対象

▶ Voice 02

ほとんどの留学生は、論文を作成する際、非常に苦労します。日本語でどう表現してよいのか、わからないからです。特に論文では、独特な形式や言葉を用いるため、日常的な日本語が得意な人も、改めて学習する必要があります。本大学院では、論文作成における日本語力向上を目指す留学生を対象として、『日本語論文指導講座』と『日本語論文添削指導』を行います。この2つのサポートを積極的に活用して、レベルの高い論文を作成するとともに、各自の日本語ライティング力アップを目指します。



※2024年1月現在の制度です。制度の改廃を行うことがあります。
※各制度により、応募条件・助成回数・金額の上限等があります。

▶ Voice 01



学会研究発表助成

金子 大悟

KANEKO Daigo

理工学研究科 応用化学専攻
博士前期課程 2023年3月修了

大学院生の研究活動に優しい 学会研究発表助成制度

大学院では、研究活動をしていく中で多くの方が学会発表を経験します。学会は研究で得られた知見を発表するだけでなく、企業や教授、学生との人脈作りにも繋がります。しかし、学会参加に伴い、参加費用や交通費などがかかる場合があります。そこで、私は大学院生の2年間で3回、学会研究発表助成制度を活用し、これらの費用を補填させていただきました。特に海外での発表は、上記の費用に加え渡航費や現地生活費なども必要になるため、学会研究発表助成制度の存在は非常に心強いサポートでした。他にも大学院生をサポートする制度はあるので、積極的に利用することをお勧めします。

▶ Voice 03



研究調査プログラム (理系)

岡田 和樹

OKADA Kazuki

農学研究科 農学専攻
博士前期課程 2023年3月修了

大学院に進む学生全員にオススメしたい制度です

私は、アスパラガスの根に関する基礎研究を行っており、自分の研究のニーズや立ち位置を調査するために2年連続で本制度を利用し、九州および東北地方の生産者へのヒアリングを行いました。生産現場の現状や課題などを自分の目で見ることによって、大学で研究しているだけでは得られない多くの気づきがあり、研究の幅が大きく広がったと感じています。本制度は、学生自身が立てた研究計画に予算がつく制度なので、自由度が高くどんな研究テーマにも活用できることが魅力だと思います。自分の研究を振り返るいい機会にもなるので、ぜひ検討してみてください。

▶ Voice 02



日本語論文作成サポート

劉 瀟瀟

LIU XIAOXIAO

文学研究科 日本文学専攻
博士前期課程 2024年3月修了

日本語論文作成サポートを活用し、 日本語ライティング力をアップさせよう

博士前期課程一年の秋学期、論文作成の日本語力を向上させるため、日本語論文添削講座制度を月に四回ほど利用していました。講座では、論理的な文章の三部構成から、接続表現、助詞、文末表現などの文法知識まで、それぞれの役割を明確に意識した上で、実際に使えることを目指しています。この講座によって、表現の役割に応じて使うことの大切さを意識してきました。これからは講座で学んだ知識や方法を活かしたいと思っています。日本語論文作成能力を向上させたい方は、ぜひ日本語論文作成サポートを積極的に活用してください。

▶ Voice 04



研究調査プログラム (文系)

永尾 陽

NAGAO Akira

政治経済学研究科 政治学専攻
博士前期課程 2024年3月修了

自分が大学院で研究をする意味を考えるきっかけに

私は、フィールドワークを1か月間するために、この研究助成に応募しました。助成金は、主に渡航費と宿泊費に活用しました。この資金があったおかげで、長い間調査をすることができました。助成金の自由度は、非常に高く、活用しやすかったです。こうした研究助成があるのは、大学院だからこそだと思います。私は応募の過程で、なぜ自分が研究するのか、そして、その研究に資金が出ることの意味を考えさせられました。しっかりとした目的意識のある調査研究は、より良い成果を出すことができます。大学院で研究していくうえで、ぜひ挑戦してみることをおすすめします。

研究調査プログラム 採択プログラムの一部紹介

【文学研究科】

- 国東半島の両子山山頂部から放射状に伸びる谷における接地気層の自然地理学的研究
- 八丈島・小笠原諸島・大東諸島をめぐる人々の移動と文化接触の地理学的研究
- 遺跡の活用における博物館の望ましい役割の解明

【教養デザイン研究科】

- 中国の対日政策における「第三世界論」への接続

【国際日本学研究科】

- 協働学習における児童生徒の異質性の理解を促すカードゲーム型教材の開発と実践

【理工学研究科】

- プロタミンのアクネ菌に対する抗菌作用機序解明

【農学研究科】

- 鳥類寄生性マダニが保有する病原ウイルスの網羅的解析
- ヤマアジサイ四国・九州地方自生集団における多様性および環境適応性の解明
- 大規模繁殖農家における自給飼料生産に関する分析
- アスパラガス (*Asparagus officinalis* L.) の採りつきり栽培における地下部の根株販売への利用の検討
- オクラの国内生産地である沖縄県における市場調査と生産現場の現状把握
- 茎ブロッコリーの国内産地である熊本県における生産現場の現状把握、聞き取り調査および市場流通調査による新栽培法の改善および出荷規格の検討
- オタネニンジン (*Panax ginseng*) における土性の違いによる有用成分の増加および栽培期間の短縮に関する研究
- 地下部冷却によるアスパラガス1年株の生育量増大の検討に向けた栽培管理の検討

明治大学大学院の学生支援制度

キャリア支援

本学では、大学院生に特化した「キャリアサポートプログラム」を実施しています。同プログラムは、アカデミアを志す大学院生への支援（研究職支援）と、民間企業や公務員などへの就職を行う大学院生への支援（就職支援）により構成され、各種講座やガイダンスの実施により大学院生のキャリアサポートを後押ししています。また、留学生のための各種講座も開催しています。

▶ Voice 05

「キャリアサポートプログラム（就職支援）」の一例

I 就職・キャリア（インターンシップ）ガイダンス 内定者報告会・座談会

大学院生に特化した内容で、進路及びキャリア選択に関するガイダンスや、博士前期課程2年生の内定者による就職活動体験報告会・座談会を開催しています。

II 個別相談会

キャリアカウンセリング資格を有するカウンセラーが、研究職就職に関する相談や、博士後期課程修了後のキャリアプランなど、大学院生固有の悩みや疑問、不安に関する相談にマンツーマンで対応します。

ジョブ型研究インターンシップ

本学では文部科学省主導の事業として、今後、企業等で拡大が見込まれるジョブ型採用を見据え、産業界と大学で連携して行う取組みである「ジョブ型研究インターンシップ制度」に参画しています。

ジョブ型研究インターンシップとは、学生（当面の間は博士後期課程の学生が対象）が企業の研究所等において、原則2か月以上にわたり有給（初任給程度）で研究活動を行うプログラムです。

企業からは業務内容や必要とされる知識・能力等が記されたジョブディスクリプションが示され、実際の業務に取組む経験を通じて、国際競争に耐え得る研究力に裏打ちされた実践力を養成することを目的としています。

明治大学大学院「キャリアサポートプログラム」講座一覧

	アカデミア支援講座	個別相談会	就職支援講座
4月	学振申請書添削サポート	—	留学生対象就職ガイダンス（就職キャリア支援センター共催）
5月	学振スタートアップセミナー ～学振応募のススメ～	個別相談会（第1回）	就職・キャリア（インターンシップ）ガイダンス
		個別相談会（第2回）	【ジョブ型研究インターンシップ】学内説明会
6月	研究職希望者支援セミナー	個別相談会（第3回）	就職活動報告会・座談会
7月	研究内容プレゼンテーションセミナー	個別相談会（第4回）	【留学生対象】就職活動報告会・座談会
10月	学振特別研究員体験談&座談会	個別相談会（第5回）	【ジョブ型研究インターンシップ】学内説明会
11月	学振申請書の書き方講座	個別相談会（第6回）	—
12月	“大学教員”という選択肢	—	—
1月	—	—	大学院生向け面接対策講座
2月	—	—	—
3月	学振特別研究員申請手続き学内説明会	個別相談会（第7回）	—

※開催時期や講座内容を変更する場合があります。

▶ Voice 05



キャリアサポート
プログラム参加者

高橋 優

TAKAHASHI Yu

農学研究科 農芸化学専攻
博士前期課程 2023年3月修了

自分らしく、 自分に正直に就職活動を進めることが大切

私は、個別相談会を利用しました。私は、幼少期から美味しいお菓子や飲料の力でたくさんの人を笑顔にしたいという気持ちを持ち、製菓・飲料の技術系職種に就きたいと思っていました。しかし、志望業界の狭さ、倍率の高さに悩み、相談をしました。アドバイザーの方がそこまでやりたいことがあるのなら、その気持ちを大切に就職活動を進めてほしいと背中を押してくださいました。自分のやりたいことに正直に、熱意を持って就職活動を進めた結果、志望業界の自分の信念と合う企業に就職することになりました。自分の夢を妥協せずに就職活動を進めて良かったと思っています。

【文系・外国人留学生対象】

『In・Career Connect
～大学院留学生のための就職支援～』
詳細は『留学生対象就職ガイダンス』にてご案内します。

就職キャリア支援センターでは、
各種就職支援行事を
通年で多数実施しています！

【行事の例】

就職進路ガイダンス、SPI講座、自己分析・PR対策講座、業界研究セミナー、模擬面接会、OBOG懇談会 etc…

行事の詳細は M Career（明治大学独自の就職支援・求人情報検索システム）へ登録の上、ご確認ください。



明治大学大学院の学生支援制度



日本学術振興会特別研究員制度 ▶ Voice 06

日本学術振興会の「特別研究員」制度は、わが国の学術研究の将来を担う創造性に富んだ研究者の養成・確保に資することを目的として、大学院博士後期課程在学者および大学院博士後期課程修了者などで、優れた研究能力を有し、大学その他の研究機関で研究に専念することを希望する者を「特別研究員」に採用し、研究奨励金を支給する制度です。

この「特別研究員」に採用されることは、自立した研究者としての第一歩となり、将来に向けたキャリアパスの観点からも重要な意味を持っています。優れた研究者を育成することは、教育研究機関としての大学院の責務です。本学大学院は、より多くの方が、研究者の登龍門である「特別研究員」になれるよう、説明会や申請書添削講座の開催などを通じて支援を行っています。

学振申請者支援助成制度

本学大学院では、学振特別研究員を目指す学生を支援するために、下記の支援制度を設けています。

- 学振特別研究員採用者への支援 (特定研究者育成奨励金)
標準修業年限内の学費免除
- 学振特別研究員再申請の支援 (学振チャレンジ助成金)
不採用者に対して助成金を支給

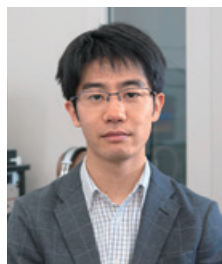
※予算状況によって支給金額の変動または無支給となる場合があります。

大学院博士後期課程 国際共同研究推進プログラム

本学大学院では、大学院博士後期課程に在籍する者が、海外の研究機関において、現地の研究者と共同して研究に従事することを奨励するために、往復航空費・滞在費を対象とした助成を行っています。

なお、このプログラムは、「日本学術振興会 若手研究者海外挑戦プログラム」への応募を奨励するものでもあります。

▶ Voice 06



日本学術振興会
特別研究員制度採用者

小口 純矢

KOGUCHI Junya

先端数理科学研究科
先端メディアサイエンス専攻
博士後期課程 3年

切り拓く第一歩を

博士後期課程では、専門家が自分しかいない未知の領域を開拓し、その意義を理解してもらわなければなりません。特別研究員への挑戦はその第一歩といえます。

採用されれば科研からの研究費や研究奨励金といった経済的支援を受けられるのも魅力的です。近年では規定が緩和され、リサーチ・アシスタントやインターンにも従事しやすくなりました。

特別研究員は国公立大や実績のある研究室の学生のみが採用されるわけではありません。大学院の支援制度を活用して、自身の能力と研究の価値を適切にアピールできれば誰にでも門戸は開かれています。

「キャリアサポートプログラム(研究職支援)」の一例

I 学振特別研究員申請書添削サポート

学振特別研究員への申請予定者が作成した申請書を、本学教員が添削を行います。1対1の面談の場で添削内容をフィードバックし、各申請予定者へアドバイスします。

II 学振申請書の書き方講座

申請書の構成と書き方を理解することに重点を置いた、高評価を受けやすい申請書の書き方やコツについての講座を開催しています。

III 研究職希望者支援セミナー

本学博士後期課程を修了し、若手教員・研究者として活躍しているOB・OGを招き、これまでのキャリアに関する体験談報告会と座談会を開催しています。

IV “大学教員”という選択肢

アカデミアの象徴である“大学教員”の魅力や業務内容、そのキャリアパスについて、パネルディスカッション形式で、本学教員が語ります。

明治大学大学院の学生支援制度



経済支援

奨学金制度

▶ Voice 08・09・10

本学では、大学院生への経済的支援を充実させることで、優れた資質を有する大学院生が研究活動に十分に専念出来る機会を保障します。それにより、大学院研究活動全体の一層の活性化を図っています。

【博士前期・修士課程の奨学金】

対象となる研究科

■法学 ■商学 ■政治経済学 ■経営学 ■文学 ■理工学 ■農学 ■情報コミュニケーション
■教養デザイン ■先端数理科学 ■国際日本学

区分	名称	奨学金額等
給費	明治大学大学院 研究奨励奨学金B	博士前期・修士課程に入学した者のうち、成績優秀者に所定の在学期間給付(2年次継続審査あり)。選考は研究科ごとに行われ、出願制ではありません。 博士前期・修士課程授業料年額2分の1相当額
貸費	日本学生支援機構 第一種奨学金(無利子)	月額5万円または月額8万8千円から選択
	日本学生支援機構 第二種奨学金(有利子)	月額5万円、8万円、10万円、13万円、15万円から選択

【博士後期課程の奨学金】

対象となる研究科

■法学 ■商学 ■政治経済学 ■経営学 ■文学 ■理工学 ■農学 ■情報コミュニケーション
■教養デザイン ■先端数理科学 ■国際日本学 ■グローバル・ガバナンス

区分	名称	奨学金額等
給費	明治大学大学院 研究奨励奨学金A	博士後期課程に入学した者のうち、成績優秀者に所定の在学期間給付(2、3年次継続審査あり)。選考は研究科ごとに行われ、出願制ではありません。 博士後期課程授業料年額2分の1相当額
貸費	日本学生支援機構 第一種奨学金(無利子)	月額8万円または月額12万2千円から選択
	日本学生支援機構 第二種奨学金(有利子)	月額5万円、8万円、10万円、13万円、15万円から選択

【その他の奨学金】

区分	名称	奨学金額等
給費	民間団体・地方公共団体の 各種奨学金	募集の都度、学内ポータルサイト「Oh-o! Meiji」等で周知します。
その他	明治大学・金融機関提携 「教育ローン」	本学学生を対象とした金融機関提携「教育ローン」です。金融機関の審査によっては融資が受けられない場合があります。

【外国人留学生対象】

区分	名称	奨学金額等
明治大学 私費外国人留学生奨学金		月額5万円(6か月間) ※選考により給付対象者を決定します。
明治大学 私費外国人留学生 授業料補助制度	新入生	当該年度の授業料のうち、20万円を補助 ※受給資格を満たす新入生全員に補助します。 ※毎年度申請が必要です。
	博士前期課程2年 博士後期課程2~3年	当該年度の授業料のうち、20万円を補助 ※選考により補助対象者を決定します。 ※毎年度申請が必要です。

以上の奨学金は、2024年度実施予定のものです。
以後、制度の変更や新設などを実施する場合は、明治大学ホームページ及び各種入学試験要項に記載します。

RA・TA制度

▶ Voice 08・09

本学では、大学院生が将来研究者や教員になるために必要な力を養うトレーニングの機会を提供することを目的とした、RA(Research Assistant:研究補助業務従事者)およびTA(Teaching Assistant:教育補助業務従事者)制度を設けています。

RA制度は博士後期課程の大学院生を対象とし、所定の研究プロジェクト等における研究補助業務に従事させることにより、若手研究者としての研究能力の育成や研究活動水準を高める機会を提供しています。TA制度は博士前期・修士課程、博士後期課程の大学院生を対象とし、学部や大学院の授業補助業務に従事させることにより、授業運営方法などを実践的に学ぶ機会を提供しています。

RA制度・TA制度はいずれも、大学院生の研究活動に支障をきたさないよう十分配慮がなされた業務内容となっており、また、勤務時間に応じて一定の給料が支払われるため、経済的支援の役割も果たしています。

助手制度

▶ Voice 07

本学では、博士後期課程の大学院生を対象に、若手研究者の養成及び博士学位の取得促進を主な目的とした助手制度を設けています。

助手は、自身の研究に専念するほか、学部等の教育補助業務に一定時間従事することが求められますが、任期中は毎月一定の給料が支払われます。本学独自の制度で厚生年金保険、健康保険及び雇用保険の対象になるなど手厚い支援内容になっています。大学院生は助手の業務を通じて、経済的支援を受けると同時に、研究力や教育力等の力を養うことができます。

大学院ファイナンシャル・プラン(授業料や経済的支援等の情報)

本学では、大学院生への経済的支援等を行うため、各種制度を用意しています。入学時の入学金の減免制度、学費減免等の奨学金制度、院生の研究活動を支援するための制度など、充実した支援制度を揃えています。

1 大学院における授業料、入学金その他の大学院が徴収する費用

大学院における授業料等は、P.201学費・その他の納付金(参考)をご覧ください。また、文理問わず他大学院に比べて充実した、修学・研究活動に係る経済的負担の軽減を図る制度を次のとおり整えています。

2 修学・研究活動等に係る経済的負担の軽減を図るための措置

入学金減免制度

制度内容	対象
博士前期課程・修士課程 ▶ P.201	
● 明治大学の学部卒業生 及び 本学の学部から飛び入学する場合	前
博士後期課程 ▶ P.201	
● 本学大学院博士前期課程修了者	後
● 本学学部卒業生で他大学院修了者	後

奨学金制度 ※併用の可否は各制度詳細を参照

制度内容	対象
明治大学独自の給費奨学金制度 ▶ P.010	
● 明治大学大学院研究奨励奨学金	○
● 明治大学私費外国人留学生奨学金	○
● 明治大学私費外国人留学生授業料補助制度	○
● 特定研究者育成奨学金 ▶ P.009	後
● 明治大学災害時特別給費奨学金	○
明治大学以外の制度 ▶ P.010	
● 日本学生支援機構奨学金	☆
● 民間・地方公共団体奨学金	☆

研究活動支援制度

制度内容	対象
明治大学独自の研究支援制度	
● 助手制度 ▶ P.010	後
● TA制度 ▶ P.010	○
● RA制度 ▶ P.010	後
● 研究活動への各種助成制度 ▶ P.006	
— 大学院生学会研究発表助成	○
— 大学院生海外研究プログラム/大学院生研究調査プログラム	○
— 外国語能力検定試験受験料助成	○
— 学術論文投稿・掲載料助成	○
— 外国語学術論文校閲料助成	○
— 留学予定者語学講座受講料助成	○
— コピーカード助成	○
— 大学院博士後期課程国際共同研究推進プログラム	後
— 学振チャレンジ助成金	後
● 各研究科の基金・資金に基づく研究助成制度	☆
明治大学以外の制度	
● 日本学術振興会特別研究員制度【日本学術振興会】	○
● 一般教育訓練給付制度【厚生労働省】	○

留学等支援制度

制度内容	対象
明治大学独自の留学支援制度 ▶ P.013	
● トップユニバーシティ留学助成金	○
● 明治大学外国留学奨励助成金	○

※制度は変更となる可能性があります。詳細はHPなどで募集要項等を確認してください。

【対象】 前：博士前期課程・修士課程のみ対象

後：博士後期課程のみ対象

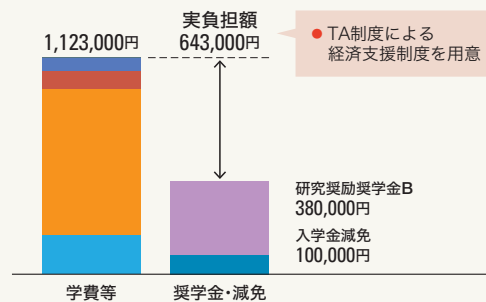
○：博士前期課程・修士課程、博士後期課程共に対象

☆：それぞれの制度詳細を参照

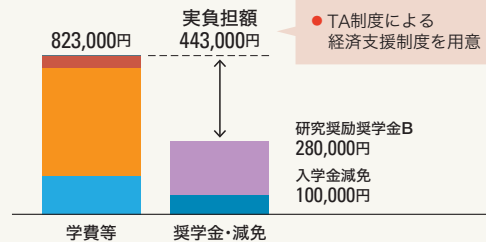
3 モデルケース

【博士前期課程（1年生/明治大学学部から進学）】

■ 理工学(建築・都市学専攻 国際建築都市デザイン系を除く) ■ 農学(農業経済学専攻を除く) ■ 先端数理科学

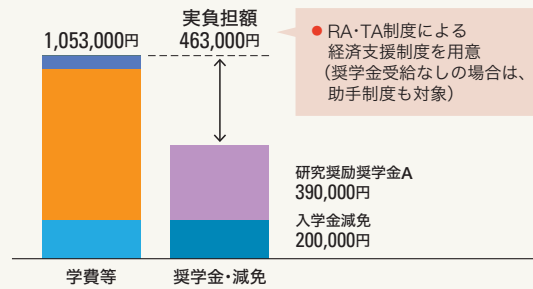


■ 法学 ■ 商学 ■ 政治経済学 ■ 経営学 ■ 情報コミュニケーション ■ 教養デザイン ■ 国際日本学

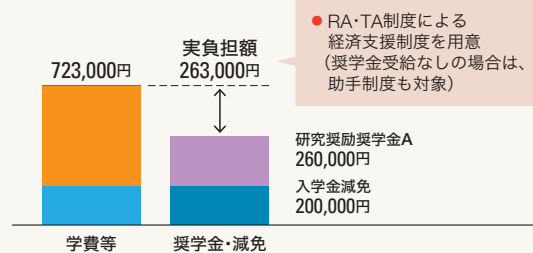


【博士後期課程（1年生/本学大学院から進学）】

■ 理工学 ■ 農学(農業経済学専攻を除く) ■ 先端数理科学



■ 法学 ■ 商学 ■ 政治経済学 ■ 経営学 ■ 文学 ■ 情報コミュニケーション ■ 教養デザイン ■ 国際日本学 ■ グローバル・ガバナンス



+ 研究活動への助成制度により研究活動の負担を軽減

※例示はあくまでモデルケースですので、各種制度が適用できるかどうかは各自の状況により異なります。

※研究奨励奨学金は成績優秀者への奨学金で、博士後期課程(A)は30%程度が、博士前期課程(B)は20%程度が採用されています(採用率は毎年度異なります)。

明治大学大学院の学生支援制度



経済支援

▶ Voice 07



助手

岩瀬 祥瑚

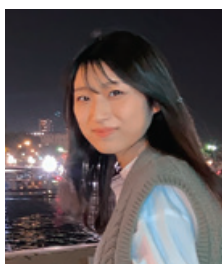
IWASE Shogo

情報コミュニケーション研究科
情報コミュニケーション学専攻
博士後期課程 3年

仕事と研究の両立のために

私は、博士前期課程では、TAをしつつ学外でアルバイトをして、生活していました。しかし、この生活では、研究時間の確保が大変だったため、博士後期課程進学にあたって、研究時間の確保と大学内部での仕事の経験ができる、助手制度に応募しました。助手業務は、コロナ禍の影響で以前とは異なるものでしたが、逆に、特殊な状況での学部運営補助という貴重な経験ができました。また、アルバイトなどで生活するよりも、研究時間は多く確保できています。生活するための仕事と研究の両立は大学院生にとって大きな課題ですが、助手制度は強い味方になってくれると思います。

▶ Voice 08



RA
Research Assistant

+ 研究奨励奨学金

深谷 友理

FUKAYA Yuri

経営学研究科 経営学専攻
博士後期課程 3年

研究活動を充実させるための 2つの経済支援制度の活用

私は、博士後期課程進学に伴い、RAと研究奨励奨学金の経済的支援を受けています。RAは、普通のアルバイトとは異なり、研究活動と両立できるように業務内容やスケジュールを調整しながら設計することができ、さらに、RAの業務を通して研究に役立つ知識を得ることができる点がメリットだと思います。RAだけで賄えない分は研究奨励奨学金で補うことができていることから、2つの経済支援制度を利用することは、研究に専念する時間を十分に確保しながら、充実して研究を遂行することにつながっています。

▶ Voice 09



TA
Teaching Assistant

+ 研究奨励奨学金

宮崎 隼人

MIYAZAKI Hayato

理工学研究科 電気工学専攻
博士前期課程 2024年3月修了

忙しい大学院生活を支えるTA制度と 継続した学習を支援してくれる奨学金制度

私がTAに応募した理由は、大学院に通いながら自分の研究で学習した知識を活かして、収入を得ることができるからです。TAは学内で行うため、移動時間が短くアルバイトによって時間が圧迫されることがなくなりました。また、学費を半額給付していただけている研究奨励奨学金は本当にありがたいです。学びを金銭的な援助として評価してもらえる分、アルバイトの時間を短縮することができることに加え、継続して学ぶことのやりがいや学んだことをTAとして教えることができ、充実した大学院生活を送ることができています。

▶ Voice 10



私費外国人留学生
奨学金

高 珠娟

KO Juyeon

商学研究科 商学専攻
博士前期課程 2024年3月修了

奨学金をもらって 豊かな留学生活ができました。

大学院からもらった奨学金で色々な面で豊かな留学生活ができました。まず、アルバイトに時間をたくさんかけず、研究に関する勉強に集中できる点が一番良かったと思います。また、奨学金は成績が良いほどもらえるチャンスが多くなるので、私にとって大きなモチベーションになりました。最後に、海外で留学生活を始めるとかかる費用が多くて心配しましたが、奨学金受給により、学費や生活費など必要な費用を賄うことができ、ゆっくり日本の生活を楽しめるのがすごく良かったです。思ったより大学院からもらえる奨学金制度が多いので、ぜひ活用してみてください。

明治大学大学院の学生支援制度



国際交流支援

海外協定校

59カ国・地域 292大学

(2024年3月現在)

外国留学制度

本大学院では、大学院生の研究推進を主な目的とした海外留学制度を利用することができます。この制度のうち「協定留学」もしくは「認定留学」により、休学することなく中長期で留学することが可能です。帰国後、留学先で修得した単位が一定の条件の下で本大学院の課程修了要件単位として認定される場合もあります。また、一部の研究科では、海外の大学院へ留学できる「短期留学プログラム」を実施しています。

詳細は国際教育センター発行の「海外留学の手引き」や本学ホームページを参照してください。

留学を希望する大学院生への主なサポート

□ 奨学金制度

明治大学外国留学奨励助成金、明治大学学生海外トップユニバーシティ留学奨励助成金 等

□ 留学予定者語学講座受講料助成

留学予定のある大学院生を対象に、語学講座受講料助成を行います。

□ 外国語能力検定試験受験料助成

各種外国語能力検定試験受験料助成を行います。

□ 留学相談(カウンセリング)

資格を持った留学カウンセラーが留学に関する様々な質問や相談に応じます。

□ 留学志望者対象英語プログラム

留学に必要な語学力強化を目的としたTOEFLやIELTSの対策講座等を行います。

研究科間共通科目による 英語研究力教育

P.188

グローバル化の進展は、研究活動においても急速に進んでおり、分野を問わず国境を越えた国際的な舞台での研究活動が不可欠になっています。研究活動におけるグローバル化は、わが国の科学の発展に寄与し、国際的な学術交流は今後ますます重要になってきます。世界各国の研究者との学術交流や研究成果を世界に発信することは、将来、研究者を志す大学院生にとって、多様な視点により、研究の幅を広げるためにも重要な意味を持っています。

国際的な研究活動を実践するためには、専門分野における研究を深めるとともに、外国語による研究を可能とする能力の習得が必要となります。そのため、本大学院では、英語による論文の執筆や、研究発表へとつながる実践的な指導を行うため、「学術英語コミュニケーション」および「英文学術論文研究方法論」の2科目を研究科間共通科目として設置し、大学院生が国際的な舞台で活躍出来る能力の育成につとめています。

明治大学グローバル・ヴィレッジ Meiji Global Village : MGV

外国人留学生と日本人学生が 共に生活する「学びの場」

本学では国際化および共創学習・教育の推進の一環として、2019年3月より和泉キャンパスに「明治大学グローバル・ヴィレッジ(Meiji Global Village: MGV)」を設置しました。

この国際混住寮は、単なる学生の居住の場ではなく、外国人留学生と日本人学生が学習スペースや交流スペースを共にしながら生活し、国際コミュニティを形成していく「学びの場」としても位置づけられています。居室は、生活の中で交流が自然と生まれるよう、リビングや水回りなどを6つの個室がシェアするユニットタイプで、計216室・36ユニット設置されています。また、1階中央部にはレストラン・リビング・キッチン・プレイルーム・学習室などの共用空間が設けられ、学びのcommonsを重視した構成となっています。

さらに、共用空間での各種活動が有機的に展開できるよう、寮生として住みながら他の寮生を支援する学生を「レジデント・アシスタント」「ジュニア・レジデント・アシスタント」として、それぞれ6名、計12名を配置し、各々のレベルのコミュニティが適切に形成・運営されるよう、日々の生活支援も含めて様々なサポートを行います。

